

第4期
周南市観光ビジョン
(素案)



周南市
令和7(2025)年3月



目次

第1章 周南市観光ビジョンについて

1. 観光ビジョン策定の趣旨 ————— p.3
2. 観光ビジョンの位置付け ————— p.4
3. 計画期間 ————— p.4

第2章 周南市の観光の現状

1. 観光を取り巻く状況 ————— p.5
2. 周南市の観光の現状と課題 ————— p.7

第3章 周南市の観光が目指す姿と施策展開

1. 観光ビジョンで目指す姿 ————— p.11
2. 基本方針と目標 ————— p.11
3. 基本施策の展開について ————— p.12

第4章 観光ビジョンの推進にあたって

1. 推進体制 ————— p.24
2. 進行管理 ————— p.25

〈資料編〉

1. 周南市の主な地域資源 ————— p.26
2. 用語解説 ————— p.32
3. 第4期周南市観光ビジョン策定の経過 ————— p.34
4. 第4期周南市観光ビジョン策定委員及びアドバイザー ————— p.34

第1章 周南市観光ビジョンについて

1. 観光ビジョン策定の趣旨

PURPOSE

本市には、沿岸部に広がる工場夜景、まちなかにある動物園、情緒ある温泉、中山間地域に広がる豊かな自然や歴史、文化など、たくさんの誇るべき観光資源があります。

これらの観光資源を活かし、「人と自然と産業が輝きを魅せる 賑わいあふれる おもてなしのまち周南」の実現を目指すため、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間を計画期間とする第3期周南市観光ビジョンを策定しました。

しかし、新たな観光ビジョンがスタートした令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、緊急事態宣言に伴う行動制限等の影響で国内旅行者はもとより、訪日外国人観光客が激減するなど、全国の観光産業を取り巻く状況は大きく変化しました。

本市においても観光ビジョンに掲げた施策のうち、取り組みが困難となったものもあり、目標指標とした観光客数は、令和元(2019)年の165万人から令和2(2020)年の100万人まで大きく落ち込みました。その後、行動制限等の緩和に伴い回復の兆しを見せているものの、令和5(2023)年の観光客数は126万人に留まるなど、依然コロナ禍前の水準には達していません。

このような状況を回復させるためには、コロナ禍を経て人々の価値観やライフスタイルの多様化が進んだことによる旅行動向の変化を的確に捉え、観光客のニーズや社会情勢に合わせた観光振興に取り組むことが必要となります。

第4期周南市観光ビジョン（以下、「本ビジョン」）は、こうした背景の中で、第3次周南市まちづくり総合計画（以下、「総合計画」）前期基本計画と整合性を図りながら、観光分野における個別計画として、本市の観光の目指す姿を実現するために取り組むべき施策を整理した指針として新たに策定するものです。



瀬戸内海国立公園太華山からの眺望

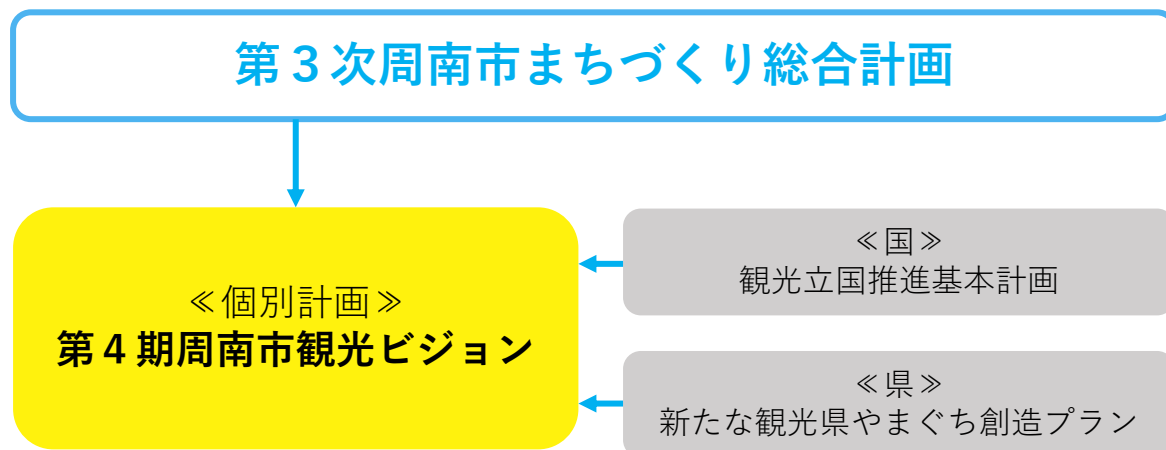


漢陽寺の紅葉

2. 観光ビジョンの位置付け

PLANS

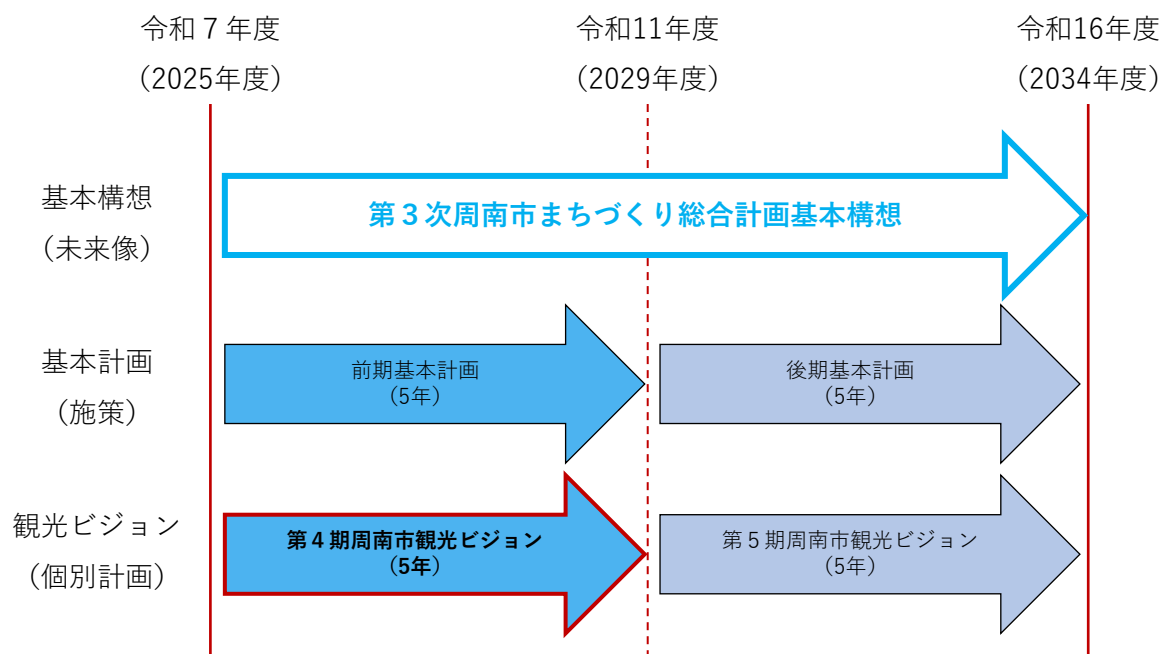
本ビジョンは、本市の最上位計画である総合計画の基本施策「観光・交流分野の推進」における個別計画として位置づけるものであり、今後の観光振興を推進するうえでの本市の理念や取り組みの方向性について、国の「観光立国推進基本計画」や県の「新たな観光県やまぐち創造プラン」とも連動させながら定めるものです。



3. 計画期間

SCHEDULE

本ビジョンは、総合計画前期基本計画の期間に合わせて、令和7(2025)年度から令和11(2029)年度の5年間を計画期間とします。



第2章 周南市の観光の現状

1. 観光を取り巻く現状

CURRENT SITUATION

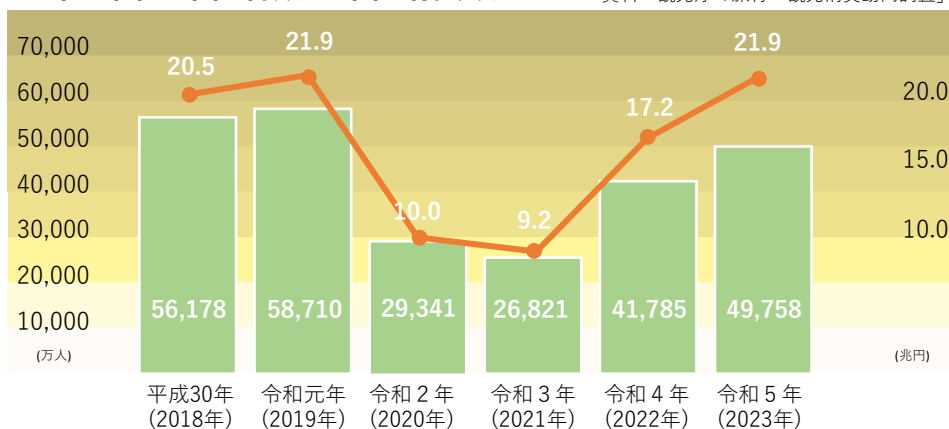
◆国内の観光の現状

(1) 日本人国内旅行

令和2(2020)年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響により、国内旅行者数は前年の50.0%、国内旅行消費額は45.5%に落ち込みましたが、令和4(2022)年から回復傾向に転じ、令和5年の国内旅行消費額についてはコロナ禍前の水準を取り戻しています。

日本人国内旅行者数・旅行消費額

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

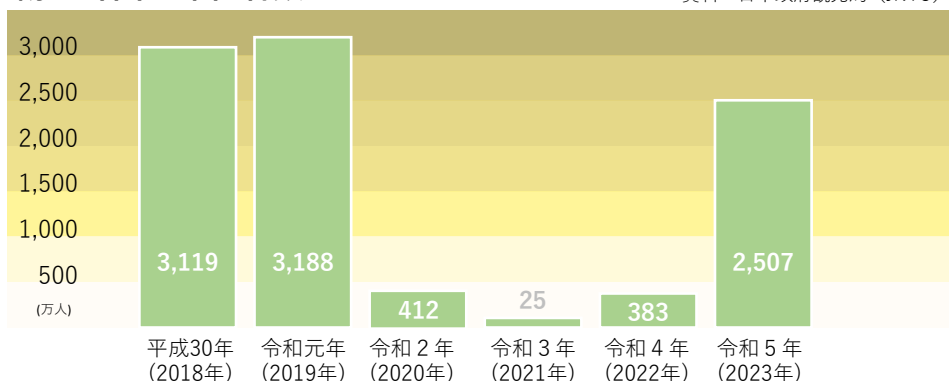


(2) 訪日外国人旅行者数

コロナ禍前の令和元(2019)年に訪日外国人旅行者数は、過去最高となる3,188万人を記録しましたが、令和2(2020)年以降は新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限等の水際対策が強化されたことなどにより激減しました。しかし、令和4(2022)年10月に水際対策が緩和されると訪日外国人旅行者数は右肩上がりで急回復し、令和5(2023)年の年間訪日外国人旅行者数は、2,507万人となり、令和元(2019)年の8割程度まで回復が進み、今後もさらなる増加が見込まれます。

訪日外国人旅行者数

資料：日本政府観光局 (JNTO)

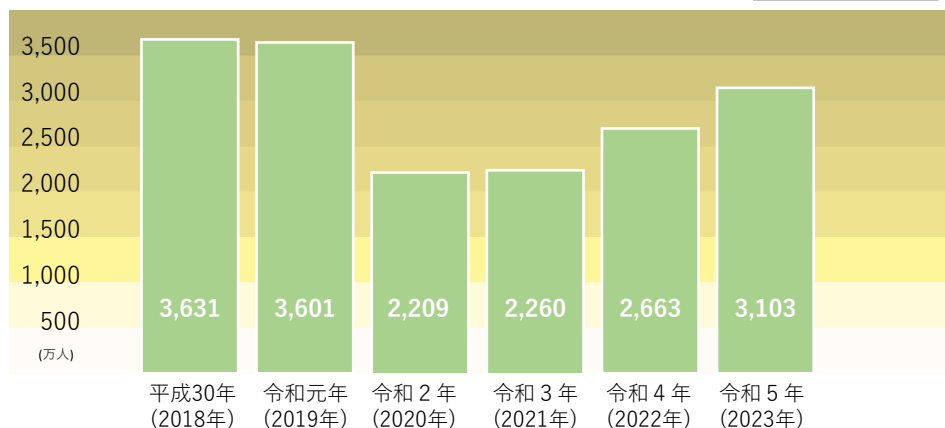


◆県の観光の現状

(1) 山口県観光客数

令和2(2020)年に新型コロナウイルス感染症の影響により、前年比61.3%に減少しましたが、令和4(2022)年から行動制限等の緩和によるイベントの再開や観光需要喚起策*¹の実施などにより観光客数は回復傾向にあり、令和5(2023)年は令和元(2019)年以来の3,000万人まで増加しています。

山口県観光客数

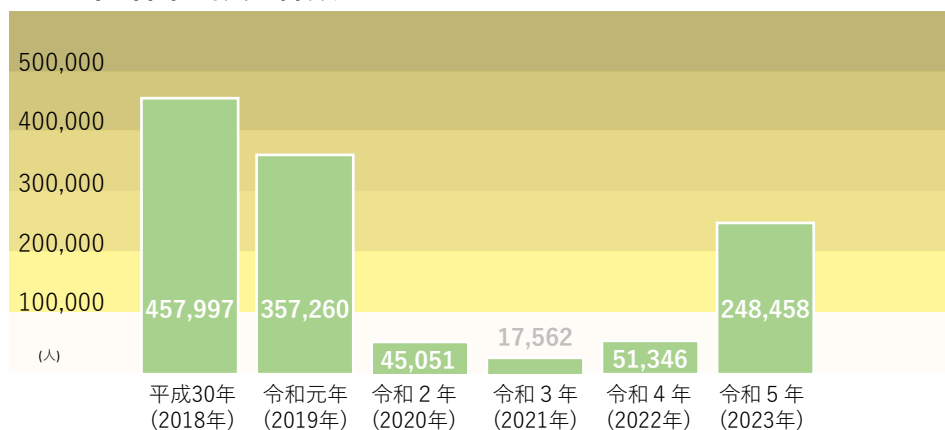
資料：山口県観光客動態調査*²

(2) 山口県外国人観光客数

新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限等の水際対策が強化されたことなどにより、令和2(2020)年以降、外国人観光客は激減しましたが、令和5(2023)年は渡航制限の緩和等により、コロナ禍前の水準までは届かないものの、前年比で大幅に増加しており、今後もさらなる増加が見込まれます。

山口県外国人観光客数

資料：山口県観光客動態調査



2. 周南市の観光の現状と課題

ISSUES

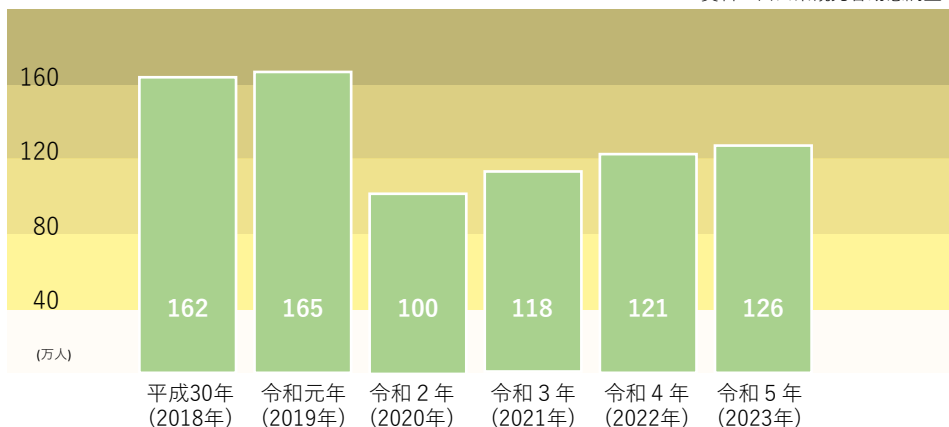
◆周南市の観光の現状

(1) 観光客数

令和元(2019)年まで着実に増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2(2020)年の観光客数は前年から65万人減の100万人となり、これまでにない落ち込みとなりました。その後、観光客数は回復の兆しを見せているものの、全国や県に比べ回復が遅く、依然コロナ禍前の水準に達していない状況が続いています。

周南市観光客数

資料：山口県観光客動態調査

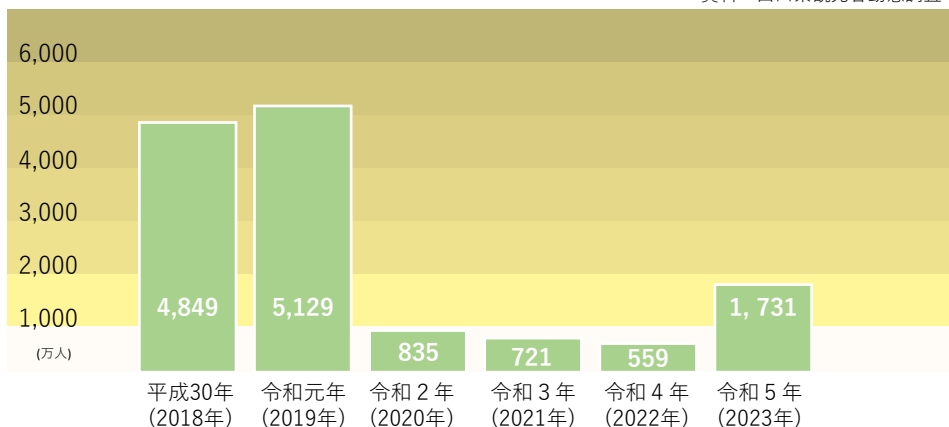


(2) 周南市外国人観光客数

コロナ禍の令和2(2020)年から令和4(2022)年までは、令和元(2019)年の数字と比較して、その1割程度と厳しい状況が続いていましたが、令和5(2023)年により増加に転じており、全国的にもコロナ禍前の水準を超える外国人観光客が訪れていることから今後も増加が見込まれます。

周南市外国人観光客数

資料：山口県観光客動態調査



◆SWOT分析

本市の観光を取り巻く現状について、内部環境と外部環境を「強み（Strength）」「弱み（Weakness）」「機会（Opportunity）」「脅威（Threat）」の4つの要素で洗い出し分析を行うSWOT分析の手法を用いて整理しました。

内部環境（プラス要因）

強み（Strength）

1 交通アクセス

- 高速道路からのアクセスの良さ（市内に4カ所のインターチェンジ）
- 新幹線「のぞみ」「さくら」が停車するJR徳山駅
- 大分県竹田津港を結ぶ周防灘フェリーが運航

2 全国屈指の工場夜景

- 新幹線の車窓からも間近に工場夜景を眺められる
- 晴海親水公園からの工場夜景が日本夜景遺産*³に認定
- 観賞スポットが多くJR徳山駅から徒歩圏内のスポットもある

3 多彩な歴史・文化資源

- 国の登録記念物（名勝地関係）に登録された漢陽寺庭園
- 国の登録有形文化財（建造物）に登録された川崎観音堂本堂・山門・門柱
- 大津島の回天訓練基地跡や平和学習施設の回天記念館
- 特別天然記念物八代のツルおよびその渡来地（本州唯一のナベヅルの渡来地）

4 良質な温泉資源

- 市内4カ所に温泉資源を有する（湯野温泉、石船温泉、三丘温泉、呼鶴温泉）
- 湯野温泉に日帰り温泉施設がオープン

5 JR徳山駅周辺に商業集積

- 駅前図書館、TOKUYAMA DECK*⁴などの集客力の高い施設
- 宿泊施設や飲食店が集積

6 観光関連施設の整備

- 鹿野観光交流拠点施設の整備（令和9（2027）年度中供用開始予定）
- 徳山動物園のリニューアルが進む（令和14（2032）年度全面リニューアル予定）
- 道の駅ソレーネ周南のパーク化計画

7 スポーツ施設の充実

- 周南緑地運動施設などスポーツコンベンション*⁵に適したスポーツ施設の充実

8 豊かな自然環境

- 瀬戸内海国立公園（太華山など）
- 中国自然歩道（長野山緑地公園）
- 石城山県立自然公園（黒岩峡など）
- キャンプ施設の充実

9 豊かな自然が育む食材

- 「徳山ふぐ」「周南たこ」「周防はも」をはじめ豊富な海の幸
- 中山間部の「ぶどう」「梨」
- しゅうなんブランド「鹿野高原豚」
- 日本酒をはじめ様々な地酒が造られている

内部環境（マイナス要因）

弱み（Weakness）

- 交通アクセス**
 - 山間部や郊外に向かう二次交通が弱い
 - 空港からのアクセスが悪い
- 受け入れ環境整備不足**
 - インバウンド*⁶対応が遅れている
 - 観光施設の老朽化
 - 宿泊施設のバリエーションが乏しい（ビジネスホテルがほとんど）
- 着地型体験メニュー*⁷が少ない**
- 市独自の土産物が少ない**
- 情報発信、プロモーション不足**
 - 観光地としての認知度が低い
 - 特産品やグルメはあるが知名度が低い
- 観光人材の不足**
 - 観光ガイド、観光関連団体の担い手不足
 - シビックプライドを育む取り組みの不足
- 観光関連団体と行政が連携した取り組みが不十分**

外部環境（プラス要因）

機会（Opportunity）

- 大型イベント、キャンペーンの開催**
 - 大阪・関西万博の開催（令和7（2025）年）
 - 山口県でデスティネーションキャンペーン*⁸開催（令和8（2026）年秋）
- コロナ禍後のインバウンド需要の急速な回復**
- 新たな観光スタイルへの注目**
 - ワーケーション*⁹、マイクロツーリズム*¹⁰、サステナブルツーリズム*¹¹
- SNS*¹²や動画配信サービスの普及で観光情報発信ツールが充実**
- 国や県の観光振興施策**
 - 国の観光立国基本計画における地方誘客促進に向けた取り組み
 - 県の「新たな観光県やまぐち創造プラン」における観光振興の取り組み

外部環境（マイナス要因）

脅威（Threat）

- JR徳山駅への新幹線「のぞみ」の停車減便**
- 国内旅行市場の縮小**
 - 人口減少による国内旅行需要の減少
 - 物価上昇に伴う日本人の旅行関連支出の減少
 - 気候変動による夏の気温上昇の影響で旅行支出の減少
- 観光需要の地域間競争の激化**
- 宿泊業をはじめ観光産業における人材不足**

◆周南市の観光の課題

観光を取り巻く状況を踏まえ、本市における観光の課題を以下のとおり整理しました。

(1) 新たな観光ニーズへの対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きく落ち込んだ観光客数を、まずはコロナ禍前の水準まで回復させる必要があります。

そのためには、コロナ禍を経て価値観やライフスタイルが変化したことで注目されることとなった、マイクロツーリズムやサステナブルツーリズムなどの観光トレンドを的確に捉え、ニーズに合わせた観光資源を提案することで観光誘客につなげることが必要です。

(2) 認知度向上に向けた効果的な情報発信

本市には多様な観光コンテンツがありますが、まだ認知度が低いものが多く、誘客に向けて観光客へ効果的かつ的確な情報発信をすることが必要です。

そのためには、デジタル技術を活用し、戦略的なプロモーションを行うことで、認知度向上を図るとともに、観光関係団体、事業者等と情報共有することで一体的な情報発信をすることが必要です。

(3) 多様化する観光客等に対する受入環境の整備

日本人観光客、各種コンベンション参加者をはじめ、コロナ禍を経て回復するインバウンド需要の取り込みのために、通信環境整備や観光施設のユニバーサルデザイン化*¹³に向けた整備など多様な人々が安心して旅行を楽しむことができる環境を整えることが必要です。

また、近年増加傾向にある外国人住民と市民が互いの違いを認め合い、地域社会の構成員として、共に生きていく「多文化共生*¹⁴による地域づくり」に取り組むことも必要となります。



東善寺やすらぎの里



長野山緑地公園の天空カフェ

1. 観光ビジョンで目指す姿

GOAL

市内外の人が集う魅力あふれる賑わいのあるまち

～まちの強みを再発見、観光資源としての利活用・進化～

本市の観光施策において、まちの強みを知り、その本質を研究し、様々な視点から観光資源として利活用することは、そこしかない魅力ある観光地として注目され、本市の観光を新たな段階に進化させることになります。観光のもつ波及効果である賑わいや交流、経済効果はもとより、観光の派生現象としてシビックプライド*¹⁵の涵養や風土や土地柄への市民の再発見につながることも期待されます。

2. 基本方針と目標

POLICY and OBJECTIVE

1 観光コンテンツの充実

一般財団法人周南観光コンベンション協会（以下、「観光コンベンション協会」）をはじめとする観光関係団体、事業者、県及び他自治体との連携を強化し、本市ならではの地域資源を組み合わせるなどして観光コンテンツの充実に取り組むとともに、効果的な情報発信等を通じて賑わいを創出し、交流人口の拡大を図ります。

目標指標	指標の説明
観光客数	山口県観光客動態調査に基づく数値
現状値 (令和5(2023)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
126万人 (年内延べ人数)	150万人 (年内延べ人数)

2 観光客の受入環境の充実

多様化する観光客のニーズに応じて、案内看板や通信環境等をはじめ、誰もが快適に安心して観光できる受入環境の整備に取り組むとともに、観光人材の育成、確保にも努め、再び訪れたくなるような受入体制の強化を図ります。

目標指標	指標の説明
各種コンベンション参加者数	山口県観光客動態調査に基づく数値
現状値 (令和5(2023)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
74,622人 (年内延べ人数)	85,000人 (年内延べ人数)

3 国際交流・多文化共生の推進

姉妹都市との友好親善を通して相互理解を深め、地域の青少年等の国際感覚の涵養や国際理解の向上を図るとともに、インバウンド及び増加する外国人住民が市民と交流できる機会を継続的に提供することにより、多文化共生のまちづくりを推進します。

目標指標	指標の説明
国際交流事業参加者数	国際交流イベント等参加者数
現状値 (令和5(2023)年度)	目標値 (令和11(2029)年度)
1,190人 (年度内延べ人数)	1,250人 (年度内延べ人数)

基本方針

3つの基本方針を基に、6つの基本施策を掲げ、目標達成に向けて計画的に施策を展開していくこととします。

◆観光ビジョンの体系

目指す姿

市内外の人が集う魅力あふれる賑わいのあるまち

～まちの強みを再発見、観光資源としての利活用・進化～

基本方針

1

観光コンテンツ
の充実

2

観光客の受入環境
の充実

3

国際交流・
多文化共生の推進

基本施策

1

日常をときほぐす観光の推進

2

夜型観光の推進

3

おもてなしの環境整備

4

効果的な魅力発信

5

観光誘客につながる連携強化

6

多文化共生による地域づくり

基本施策1 日常をときほぐす観光の推進

コロナ禍以降、密を避け、近場で過ごす旅のスタイル「マイクロツーリズム」が注目されていることから、本市においても、主に中山間地域の自然や歴史、文化等の地域資源を有効活用することで、交流人口の拡大、地域経済の循環及び活性化、シビックプライドの涵養を図る「日常をときほぐす観光」の取り組みを推進します。

1 土地柄・風土を活かした観光の推進

地域特有の風習や人々の気風・考えは長い歴史を育み文化を支え、土地柄や風土として今日に至っています。その中から光り輝く事物を見出し、伝え、提供し、観光客にその土地ならではの感動を与える取り組みを展開します。

《主な取り組み》

- 潮音洞（水資源確保）、八代のナベヅル（自然保護）、回天記念館（世界平和）、川崎観音堂（母子愛）など、人々の暮らしや将来世代を慮った独特の観光資源にあふれていることから、これらを活用し、地域ならではの体験型コンテンツの開発に努めます。



潮音洞から流れ出る清流



八代で越冬するナベヅル



大津島の回天訓練基地跡



川崎観音堂山門

2 鹿野観光交流拠点施設を活かした観光の推進

鹿野観光交流拠点施設の供用開始を令和9(2027)年度中に予定していることから、鹿野地域に点在する地域資源や観光コンテンツを集約し、つないで鹿野地域の周遊を促す施設となるよう準備を進めます。

《主な取り組み》

- 鹿野観光交流拠点施設において、来訪者のニーズに合わせて周遊ルートの提案や地域の特産品の紹介ができるよう、地域の豊かな自然や歴史、文化資源や地域のイベント、特産品販売店舗等の情報を集約し、発信します。
- 地域住民が主体となり、地域の歴史や文化、産業、暮らしなどを守りながら観光コンテンツとしてアピールし、地域の活性化を目指すコミュニティツーリズム*¹⁶を推進します。
- 点在する観光地をつなぐ二次交通手段として、気軽に楽しく移動できる電動マイクロモビリティ*¹⁷のシェアリングサービスを導入します。
- 施設内にチャレンジショップ機能を導入し、特産品の開発や地域経済の活性化を図るとともに、地域での創業につなげられるよう取り組みを進めます。
- 鹿野地域の魅力を市内外に発信する施設として、地域に愛され、人が集う場となるよう施設運営を行います。

3 文化資源を活かした観光の推進

令和3(2021)年に漢陽寺庭園が国の登録記念物に、また令和4(2022)年に川崎観音堂の本堂、山門、門柱が国の登録有形文化財に登録されるなど、本市は多彩な文化資源を有していることから、それらを活用し観光誘客を図る「文化観光」の推進に取り組みます。

《主な取り組み》

- 文化資源の魅力を分かりやすく発信するとともに、そこに関連する体験メニューを加えることで更なる観光誘客を図ります。
- 回天記念館や回天訓練基地跡など外国人観光客の関心が高いスポットにおいては、パンフレットや案内看板の多言語表記など受入環境の整備に取り組みます。
- 平和学習施設である回天記念館を教育旅行のコンテンツとしてPRします。

4 温泉を活かした観光の推進

温泉は観光産業において大きなアドバンテージとなるコンテンツであり、地域経済への波及効果も大きく貴重な経済資源となります。本市には郊外に豊かな自然に囲まれた情緒ある温泉（湯野温泉、石船温泉、三丘温泉、呼鶴温泉）があることから、これらを効果的に活用し観光誘客を図ります。

《主な取り組み》

- 日本人観光客及び外国人観光客の温泉に関するニーズを把握し、それぞれに合わせた情報発信の強化に取り組みます。
- 温泉地周辺の特産品や観光地と組み合わせてPRすることで、温泉地全体の経済効果を高めます。
- コロナ禍以降、国民の健康志向が高まっていることから、泉質の特性や効能をPRすることで観光誘客を図ります。

5 自然環境を活かした観光の推進

山頂付近が瀬戸内海国立公園第2種特別地域*¹⁸に指定されている太華山や中国自然歩道*¹⁹の一部である長野山、また中山間地域の花木、河川等の豊かな自然環境が織りなす景観やそれらを活用したアウトドアコンテンツの魅力を発信し、観光誘客を図ります。

《主な取り組み》

- 市内各所に点在する見所を四季ごとにつなげて情報発信することで広域での周遊性を高めます。
- 登山道やキャンプ施設等自然を楽しむことができるアウトドア環境の整備に取り組みます。



「湯や晴ル音」とシンボルツリーの松



太華山山頂付近にある与謝野鉄幹の歌碑

基本施策2 夜型観光の推進

沿岸部に広がる全国有数のコンビナートが創り出す周南工場夜景や市内各所で開催される夜型イベントを飲食店や宿泊施設の利用へ結び付け、本市での滞在時間を延ばすことで、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ります。

1 工場夜景ツアーの充実

本市を代表する観光資源である工場夜景を活用したツアー商品等の充実を図ることで更なる誘客を図ります。

《主な取り組み》

- コンビナート企業、観光コンベンション協会、交通事業者、宿泊事業者等と連携して、現状のツアーの拡充や新たなツアーの開発について検討します。
- 工場夜景の魅力を案内するガイドの育成、確保に取り組みます。
- 昼間の工場見学ツアーにおいてコンビナートの歴史や各企業の世界戦略、カーボンニュートラル実現に向けた先進的な取り組みなどを事前に学習することで、ここにしかない工場夜景ツアーに進化させます。

2 飲食店・宿泊施設へつなげる仕掛けづくり

工場夜景ツアーや夜型イベントの参加者が市内の飲食店や宿泊施設を利用するための仕掛けづくりに取り組みます。

《主な取り組み》

- 観光コンベンション協会、飲食店、宿泊施設、旅行会社等と連携した周遊観光を推進します。
- 工場夜景ツアー参加者に市内の飲食店や宿泊施設、翌日の旅行プラン等の情報を集約して提供するなど情報発信の強化を図ります。



周南工場夜景クルーズツアー



飲食店を紹介するグルメマップ

基本施策3 おもてなしの環境整備

観光客のニーズが多様化する中で、日本人観光客、外国人観光客、各種コンベンション参加者等誰もが安心して観光できる環境を整備します。

1 コンベンション開催における受入体制の整備

コンベンション参加者による交流人口の拡大とそれに伴う地域経済の活性化を図るため、主催者のニーズに対応した受入体制を整備します。

《主な取り組み》

- 観光コンベンション協会と連携して、コンベンション開催に関するワンストップサービスの確立に取り組みます。
- コンベンション参加者が市内の観光施設や飲食店を訪れるよう官民で連携してアフターコンベンション*²⁰の魅力強化を図ります。

2 誰もが安心して快適に観光できる環境の整備

高齢者や子育て世帯、外国人観光客や在留外国人など誰もが安心して快適に観光できる環境整備に取り組みます。

《主な取り組み》

- 観光施設のバリアフリー化やトイレの洋式化など、観光客が安心して快適に観光できる環境整備に取り組みます。
- デジタル技術を活用し、観光案内情報を発信することで観光客が必要な情報を入手しやすい環境を整えます。
- ピクトグラム*²¹の配置や看板の多言語表記など、誰もが分かりやすい案内サインを整備し、受入環境の充実を図ります。
- 交通アクセスについて地図情報に加えて動画配信サービスを活用し、移動の様子を配信することで観光スポットまでの案内を行います。



ピクトグラムを使用した誘導看板



周南市観光案内所まちのポート

3 観光人材の育成・確保

雇用環境の変化や人口減少等によって不足している観光人材の育成や確保に取り組むなど、ソフト面での受入体制の整備を行います。

《主な取り組み》

- ボランティアガイドの人材発掘と育成においては、市民や周南公立大学、市内の高等学校等との連携を深め、多彩な分野から資質の高い人材を広く求めます。また、インバウンドに対応する翻訳アプリを活用した手法についても研究します。
- 本市ならではの観光資源の魅力を市民に向けて発信し、観光振興への関心を高めることで観光人材の発掘につなげていきます。



スポーツコンベンション施設
(ゼオンアリーナ周南)



ボランティアガイドツアー



観光パンフレットのWEB配信



しゅうなん旅図鑑



周南工場夜景



繁体字・英字パンフレット



How to get to Tokuyama Port Building from JR Tokuyama Station - JR徳山駅から徳山ポートビルまでの順路

多言語での動画による情報発信



JR徳山駅からポートビルまでの
順路案内動画



回天記念館行きのチケットの
買い方動画

基本施策4 効果的な魅力発信

本市の観光資源の魅力向上のため、デジタル技術等を活用し、国内外に効果的な情報発信することで観光誘客につなげます。

1 SNSや動画配信サービスを活用した情報発信

多くの観光客が利用するSNSや動画配信サービスを活用して本市の観光の魅力を発信します。

《主な取り組み》

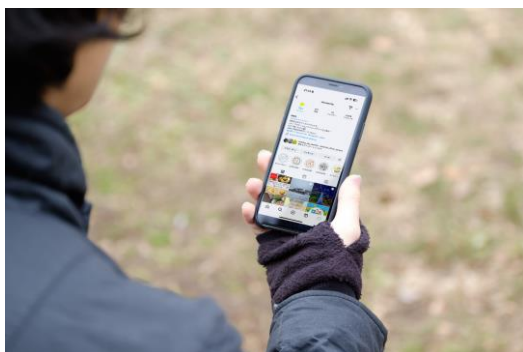
- SNSを活用し、観光スポットの美しい写真や短い動画を投稿し、ビジュアルによる直感的な魅力を発信します。
- インフルエンサー*²²の活用について検討します。

2 ターゲットに応じた魅力発信

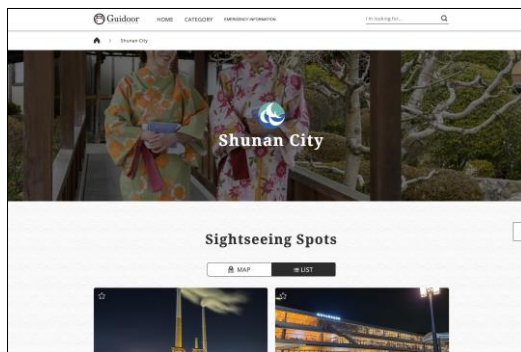
日本人向け、外国人向け、さらに若年層向けやシニア層向けなど多様化する観光客のニーズにあった情報発信をすることで観光誘客を図ります。

《主な取り組み》

- 発信する情報のターゲットに応じて投稿する内容、プラットフォーム*²³を選定します。
- 外国人観光客の誘客については、国や地域のニーズを踏まえた情報発信を行い、観光情報とともに滞在時の災害情報や避難情報等も発信できるよう取り組みます。
- 地元メディアに情報発信の協力が得られるような効果的な情報提供を行います。
- AI検索エンジン*²⁴に対応した情報発信やコンテンツを作成することで、情報の届きやすさを高めます。



SNSでの情報発信



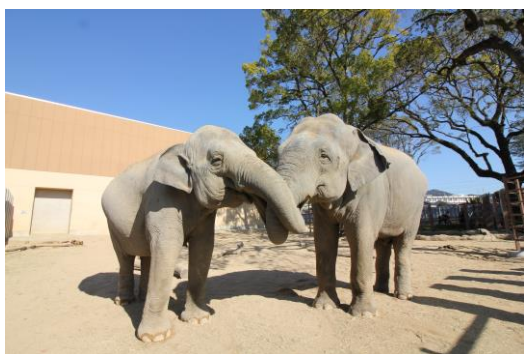
観光情報サイトの多言語化

3 集客力の高い観光コンテンツの情報発信強化

集客力の高い観光コンテンツやイベント等の情報発信を強化し、本市の観光の強みとして活用することで観光誘客を図ります。

《主な取り組み》

- 徳山動物園や道の駅ソレーネ周南などの集客力の高いコンテンツやJR徳山駅周辺の賑わいの創出につながるイベントの情報発信強化に取り組みます。
- 従来の観光パンフレット、ポスター等に加え、デジタル技術を活用することで幅広い層への情報発信を行います。
- 外国人観光客向けの観光情報発信コンテンツの充実を図ります。



徳山動物園のスリランカゾウ



道の駅ソレーネ周南



周南冬のツリーまつりのキャンドル



サンフェスタしんなんりゅうのゆめ花火



かの'nこと清流Fes.

基本施策5 観光誘客につながる連携強化

市内外の観光関連団体や山口県、近隣市をはじめ様々な自治体と連携を進めていくことにより、それぞれの持つ魅力を発信し、誘客と周遊につなげていく取り組みを推進します。

1 市内における連携

観光コンベンション協会、商工会議所をはじめとする団体や事業者、また、イベントや観光施設の維持管理に関わる市民や地域団体と情報共有を図り、誘客や観光人材の育成に取り組めます。

《主な取り組み》

- 事業者と連携しながら地域資源を活用した観光や食のコンテンツ発掘や磨き上げ、特産品の開発などに取り組めます。
- イベントや観光施設の維持管理の担い手不足解消のため、地域づくり団体や周南公立大学等と連携し、課題解決や人材育成に取り組めます。

2 広域における連携

広域的な観光連携により市外、県外からの誘客を図り、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげます。

《主な取り組み》

- 観光協定を結ぶ防府市、下松市、光市と連携し、テーマ性やストーリー性を持った広域周遊ルートを提案することで本市への観光誘客につなげます。
- 山口県や県観光連盟とともに、大阪・関西万博や、デスティネーションキャンペーンにおいて県広域での魅力向上を図り、県外からの誘客に繋がります。
- 全国工場夜景都市協議会加盟都市として、他都市と連携しながら工場夜景の魅力を全国に発信します。

基本施策6 多文化共生による地域づくり

全国的な人口減少・少子高齢化により生産年齢人口が減少している中、本市で暮らす外国人は、令和6(2024)年10月末現在で1,900人を超え、近年増加傾向にあり、今後も本市で暮らす外国人は増加していくことが予想されます。

このような状況の中で、地域で暮らす外国人と日本人が互いの違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生による地域づくり」を推進します。

1 姉妹都市など諸外国との交流の推進

姉妹都市交流を中心とした友好親善を図ることで、相互理解、国際協力に寄与できる国際的視野を有する人材を育成します。

《主な取り組み》

- 姉妹都市オランダ・エームスデルタ市を中心に、青少年を対象とした友好親善訪問団の派遣・受入を継続します。
- 諸外国との交流事業を実施し、多様な価値観に触れる機会を創出し、市民の国際感覚を養います。

2 外国人住民の地域社会におけるコミュニケーションの推進

日本人と外国人住民との円滑なコミュニケーションを促進するとともに、お互いを尊重し、相互理解を深めることで、地域社会の一員として共に生きていくことができる地域づくりを推進します。

《主な取り組み》

- 生活のために必要な日本語教室を実施します。
- 多くの外国人住民にとって共通して理解ができる「やさしい日本語^{*25}」の普及啓発を図ります。
- 日本人住民と同様の公共サービスを享受し生活できるよう、SNS等を活用し、外国人住民向けの情報発信を行います。

3 日本人と外国人が共に活躍できる地域づくり

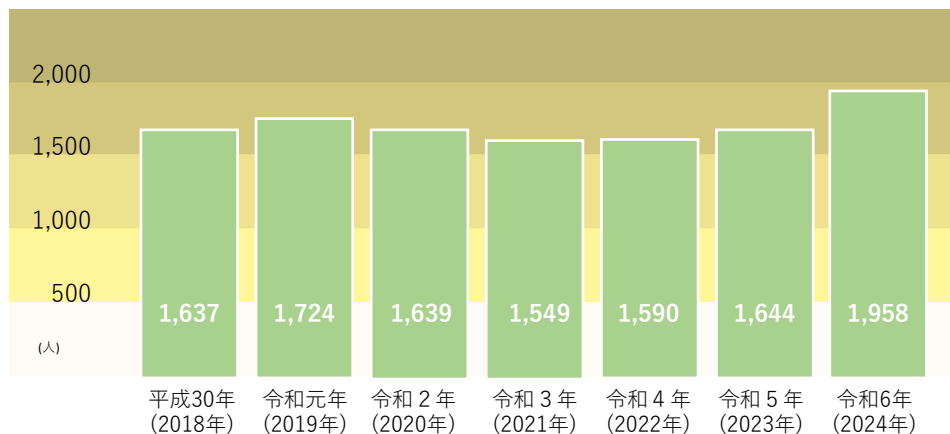
様々な背景を持つ外国人を含むすべての市民が社会に参画し、自らの持つ能力を最大限に発揮し、地域社会の一員として活躍する事で、多様性に富んだ活力ある地域づくりを推進します。

《主な取り組み》

- 国際交流サロン *²⁶活動を通じ、日本人と外国人が気軽に交流できる機会を提供します。
- 外国人住民が地域での交流を通じて、地域活動の新たな担い手として参画できる機会を創出します。

周南市在住外国人の人口推移（※各年12月末時点の人口）

資料：周南市観光振興課作成



姉妹都市オランダ・エームスデルタ市への友好親善訪問団派遣



国際交流サロンでのスポーツ交流会

1. 推進体制

ROLE

本ビジョンを推進していくためには、市民、観光関係事業者、観光関係団体、周南市がそれぞれの役割を担い、相互の連携を図りながら一体となって取り組む必要があります。

1 市民の役割

- 周南市の魅力を支える主体として、地域の自然や歴史、文化、伝統行事等を保存、継承し、地域への愛着、誇りを持って紹介、案内できるよう努めます。
- 観光客に対して、おもてなしの心を持って迎え、交流を深めるよう努めます。

2 観光関係事業者の役割

- 観光関係事業者は、強みを活かした質の高いサービスの提供に努めます。
- 事業者相互の連携を図り、情報共有しながら一体的に観光振興に取り組むことで、地域経済の活性化に取り組みます。

3 観光関係団体の役割

- （一般）周南観光コンベンション協会は、本市の観光振興、コンベンション誘致及び支援等において中心的な役割を担う団体として、各観光関係団体と連携し、誘客促進や魅力発信を積極的に展開するよう努めます。
- 商工会議所やまちづくり団体、地域づくり団体など観光に関わる団体は、地域に根ざした活動を通して、持続可能な観光地づくりの取り組みに努めます。

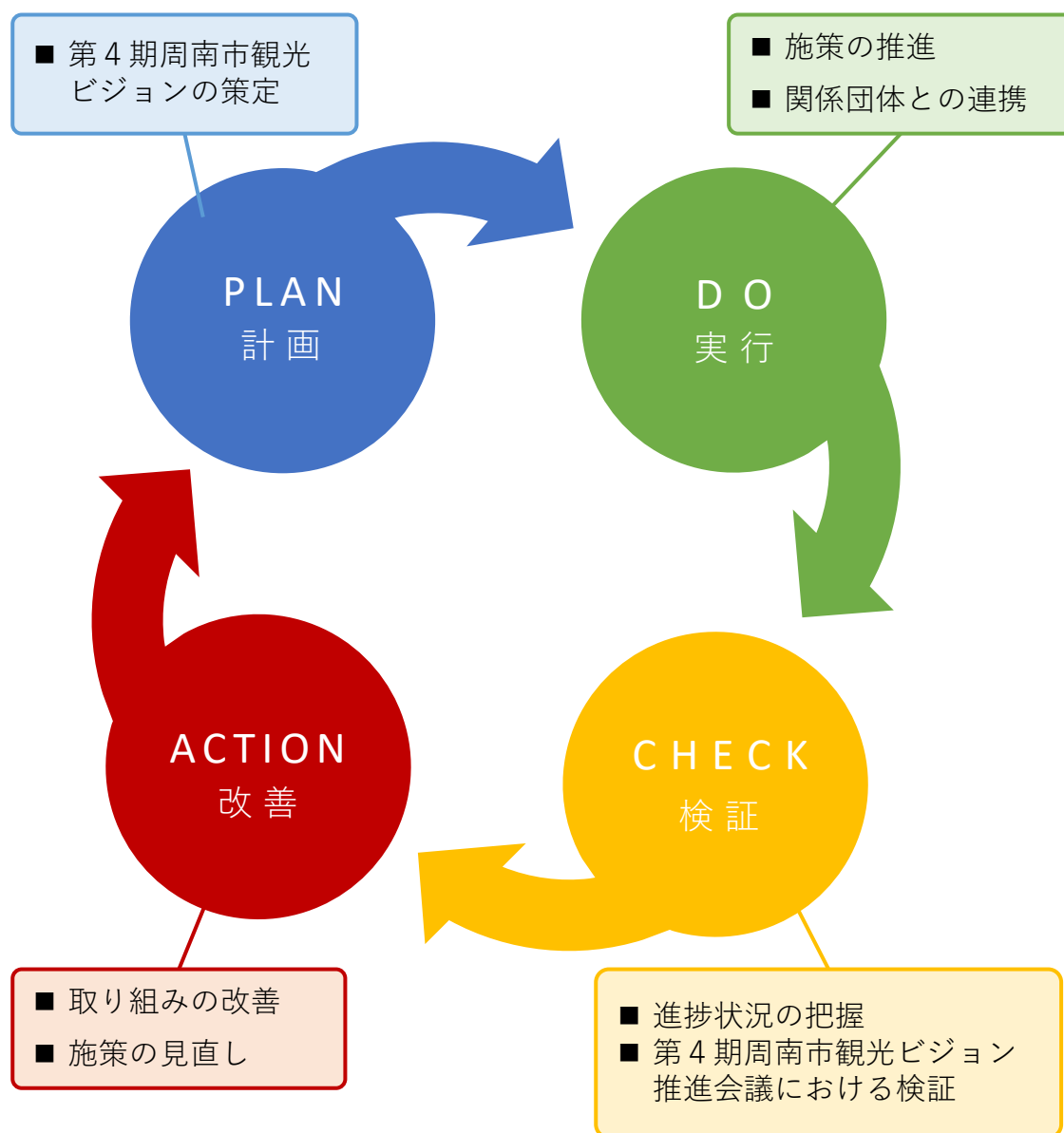
4 周南市の役割

- 市民、観光関係事業者、観光関係団体、さらには、国、県、周辺市町等と連携、調整を図りながら観光誘客及び本市の魅力や認知度向上に繋がる観光振興施策を展開します。
- 各主体が自主的に行う活動に対して、情報発信をはじめ協力、支援等を行います。
- 観光客の満足度を高めるために受入環境の整備を推進します。

2. 進行管理

MANAGEMENT

本ビジョンで策定した施策を着実に進めていくため、関係者で構成される「第4期周南市観光ビジョン推進会議」を開催し、各施策における具体的な事業の実施状況を検証し、必要に応じて取り組みの改善を図るなど、関係者で情報共有することで一体感を持って計画を推進します。



1. 周南市の主な地域資源

REGIONAL RESOURCES

(1) 観光地点

項目	分類	主要な地域資源
自然	山岳	【瀬戸内海国立公園】 太華山^{たいかざん}362m 【中国百名山】 弟見山^{おととみやま}1,085m、馬糞ヶ岳^{ばふんがたけ}985m 【山口県の百名山】 太華山、弟見山、馬糞ヶ岳、長野山 1,015m、 ^{あざみがたけ}筋ヶ岳1,004m、石ヶ岳 924m、^{いいがたけ}飯ヶ岳937m、若山 217m、 四熊ヶ岳 504m、^{しょうせんぼう}昇仙峰261m、^{おおたかがみやま}観音岳 408m、大高神山647m、 ^{きんぼうざん}金峰山790m、千石岳 630m、^{えぼしがたけ}烏帽子岳697m ○ 岩尾山 510m(ライオン岩)、嶽山 364m、とおの山 290m
	河川	【石城山県立自然公園】 黒岩峡 【2級河川7水系】 錦川、^{しまた}島田川、^{さいこうじ}西光寺川、東川、^{とんだ}富田川、 ^{やじ}夜市川 ○ 高瀬峡、赤滝、魚切の滝
	離島・群島	【瀬戸内海国立公園】 ^{おおづしま}大津島、馬島、黒髪島、^{すくもじま}杣島
	湖	○ 高瀬湖、菅野湖、向道湖
	花木	【桜】 ^{だんじょういとざくら}弾正系桜、^{きんしょうざくら}金松桜、石船温泉、天神山公園、せせ らぎパーク、周南緑地公園、徳山動物園、回天記念館、緑と文 化のpromナード、東川緑地公園、^{えいげんざん}永源山公園、若山公園、 ^{とうぜんじがわ}東繕寺川河川公園 【芝桜】 ^{おおどうり}大道理芝桜 【チューリップ】 永源山公園 【ツツジ】 永源山公園、周南緑地公園、黒岩峡 【シャクナゲ】 天神山公園 【大賀ハス】 周南緑地公園（西緑地） 【菖蒲】 周南緑地公園（西緑地）、清流通り 【ササユリ】 長野山緑地公園、天神山公園 【アジサイ】 長野山緑地公園、烏帽子岳 【紅葉】 長野山緑地公園、漢陽寺、高瀬峡、黒岩峡

項 目	分 類	主 要 な 地 域 資 源
自然	その他自然	(国) 八代のツルおよびその渡来地、大玉スギ (県) 秘密尾の氷見神社社叢^{ひ み しやそう} (市) 明神の藪、二俣神社の社叢^{ふたまた}、高瀬先山のミズメ、周方神社の社叢^{す わ}、興元寺のイチョウ、高水神社夫婦岩 【やまぐちの棚田 20 選】 小畑地区、井谷地区、中須北地区、大道理鹿野地地区^{かのち}、四郎谷地区 ○ 中国自然歩道、ガマの群生地
	史跡	(県) 潮音洞^{ちようおんどう}、若山城跡、勝栄寺土塁及び境内 (市) 陶氏墓所、福川本陣跡、杉元相父子の墓所^{すぎもとすけ}、徳山毛利家墓所、毛利元政の墓所、毛利元就の歯廟^{しびょう}、呼坂本陣跡 【平成の名水百選】 潮音洞、清流通り ○ 回天関連施設（基地跡、トンネル等）、穴戸家墓所、堅田家墓所、山崎隊士の墓所、栗屋家墓所、徳山藩館邸跡、奈古屋蔵人屋敷跡、児玉源太郎生誕の地(児玉文庫跡)、野村開作の石柱
歴史・文化	神社・仏閣	【神社】 遠石八幡宮^{といし}、山崎八幡宮^{やまさき}、鷹飛原八幡宮^{たかとばら}、児玉神社、祐綏神社^{ゆうすい}、辰尾神社、二所山田神社^{にしよやまだ}、熊毛神社、飛龍八幡宮、二俣神社、桜田八幡宮 【仏閣】 大成寺^{たいじょうじ}、漢陽寺^{かんようじ}、龍文寺^{りゅうもんじ}、勝栄寺^{しょうえい}、龍雲寺^{りゅううんじ}、建咲院^{けんしょういん}、真福寺^{しんぶくじ}、法瀧院^{ほうりゅういん}、 ○ 川崎観音、金子大明神（兼子様） ※ 下線の神社仏閣は「御朱印」対応あり
	庭園	(国) 漢陽寺庭園（国登録記念物）
	歴史的まち並み旧街道	○ 旧山陽道、山代街道、鹿野街道
	美術館	○ 周南市美術博物館、周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館 ^{おさきまさあき}
	記念・資料館	○ 回天記念館、周南市民俗資料館、熊毛歴史展示室、鹿野民俗資料展示室、鶴いこいの里交流センター（鶴展示室）、津田恒美記念碑
	動・植物園	○ 徳山動物園、山野草のエキ

項目	分類	主要な地域資源
歴史・文化	歴史的建造物	(県) 山田家本屋、徳修館 (登) 旧日下医院本館・別館・正門及び塀、周南市市長公舎洋館・和館、遠石八幡宮本殿ほか、川崎観音堂本堂・山門・門柱、松室大橋ほか ○ 向道ダム、菅野ダム、川上ダム、島地川ダム
	その他歴史	(市) 寺嶋忠三郎誕生の地、吉田松陰と寺嶋忠三郎訣別の地 ○ 遥拝石、岩崎想左衛門重友像、飯田忠彦の碑、徳山七士碑、大阪城築城残石
温泉	温泉地	○ 湯野温泉、石船温泉、三丘温泉、呼鶴温泉
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設	○ ゼオンアリーナ周南、ゼオンアリーナ周南庭球場、周南市サッカー場、津田恒実メモリアルスタジアム、周南市陸上競技場高瀬サン・スポーツランド、大津島ふれあいセンター、ゴルフ場（市内4カ所）
	キャンプ・宿泊	○ せせらぎパーク、豊鹿里パーク、長野山緑地公園、高瀬サン・スポーツランド、新平ヶ原公園、烏帽子岳ウッドパーク、大津島ふれあいセンター
	釣り場	○ 徳山湾、河川、湖
	マリーナ・ヨットハーバー	【海の駅】 シーホース ○ 長田フィッシャリーナ、グリーンヤマトマリーナ
	公園	【日本夜景遺産】 晴海親水公園 ○ 長野山緑地公園、天神山公園、周南緑地公園、長田海浜公園・海水浴場、永源山公園「ゆめ風車」、三丘ゆめ広場「学びの椅子」
	その他レジャー施設	○ ボートレース徳山

項目	分類	主要な地域資源
都市型観光 買物・食等	食・グルメ	○ ふぐ料理店、カフェ、鹿野ファーム、浜のえび店 ○ 鹿野高原豚、地酒、徳山ふぐ、周防はも、周南たこ、高瀬茶、果物（なし、ぶどう、苺）、自然薯
	都市型観光	○ 道の駅「ソレーネ周南」、まちのポート、TOKUYAMA DECK
体験型	体験	【工場夜景】 各種ツアー（船、バス、タクシー、宿泊） 【動物ふれあい】 徳山動物園 【観光農園】 須金フルーツランド、瀬田農園、福田果樹園 【調理、米づくり】 大田原自然の家、豊鹿里パーク 【紙すき】 鹿野高齢者生産活動センター、須金和紙センター 【写経・写仏・座禅】 漢陽寺、祥雲寺、勝栄寺 【カッター訓練、魚釣り】 体験交流施設 ^{おおづしまうみ さと} 大津島海の郷 【アーチェリー、ツリークライミング、BBQ、ジャム作り】 福田フルーツパーク
その他	他に分類されない観光地点	○工場群（夜景）、徳山駅前賑わい交流施設



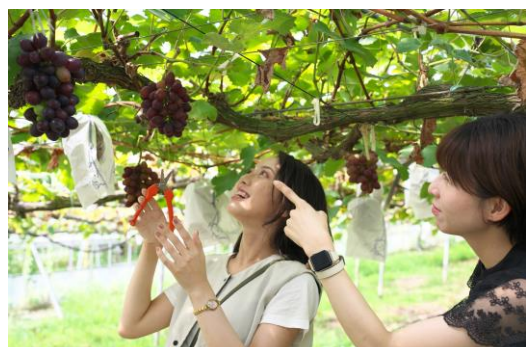
大道理の芝桜



石城山県立自然公園黒岩峡



徳山ふぐ



観光農園でのフルーツ狩り

(2) 行催事・イベント

項 目	分 類	主 要 な 地 域 資 源
行 催 事 ・ イ ベ ン ト	行催事	【春】 桜まつり（各所）、大道理芝桜まつり、永源山つつじ祭り、高瀬の旬をクイーン祭 【夏】 ホタル祭り（各所）、徳山夏まつり、サンフェスタしんなんよう、貴船祭 【秋】 かのふるさとまつり、かの'n こと清流 Fes、周南みなとまつり、永源山ゆめ風車まつり、ムーンフェスタしんなんよう、周南ふるさとふれあい物産展、YOSAKOI ぶち楽市民祭、周南こどもゆめまつり 【冬】 周南冬のツリーまつり、工場夜景の日記念イベント 【日本夜景遺産】【イルミネーション百選】 周南冬のツリーまつり
	初詣	○ 遠石八幡宮、山崎八幡宮、二所山田神社、熊毛神社、飛龍八幡宮
	花火大会	○ サンフェスタしんなんようの花火
	民俗芸能	【無形民俗文化財】 （国） ^{みつくり}三作神楽 （県） 式内踊、長穂念仏踊、山崎八幡宮の本山神事、花笠踊、^{かんこ}諫鼓踊、周南市安田の糸あやつり人形芝居 （市） ^{はっさく}須々万八朔祭り、新畑神舞 【その他】 ^{つつみくしゆくいりやっこ}堤区宿入奴、^{あじろ}網代、鹿野さんさ踊り、手踊り、須々万地区盆踊り、^{もどろ}戻路杖踊り、久保神楽、揉山、だいがら踊り、福川盆踊り、さんさ踊り、平家踊り、長持唄、貴船祭、神踊り
	映画祭	○ 周南「絆」映画祭
	他に分類されない行催事・イベント	○ 周南市文化会館（コンサート等）、ライブハウス

凡 例

■ (国) (県) (市)	それぞれ国、県、市から指定されている指定文化財。
■ (登)	国から登録されている登録文化財。
■ 【瀬戸内海国立公園】	昭和9(1934)年に国内初の国立公園として指定され、山口県地域は、昭和25(1950)年及び昭和31(1956)年の区域拡張により、それぞれ区域編入され、現在では国内最大の面積を誇る。
■ 【中国百名山】	「山と溪谷社」より選出された、中国地方に位置する100の名峰集。
■ 【山口県の百名山】	平成7(1995)年に刊行された書籍「山口県百名山」において紹介された山のリスト。
■ 【石城山県立自然公園】	昭和37(1962)年に、瀬戸内海を望める石城山と国民保養温泉地となっている三丘温泉を有する美しい自然と遺跡に恵まれた自然公園として、山口県により指定されている。
■ 【2級河川】	平成26(2014)年現在で、山口県が河川法第5条第1項に基づき、106水系、434河川を指定し、管理している。
■ 【やまぐちの棚田20選】	平成21(2009)年に、やまぐち棚田保全協議会により選定されている。
■ 【平成の名水百選】	環境省によって2008年に選定された水の名所百か所。
■ 【名湯百選】	平成11(1999)年にNPO法人「健康と温泉フォーラム」が温泉療法医がすすめる温泉という観点から選んだ温泉。
■ 【日本夜景遺産】	民間の組織である日本夜景遺産事務局が選定する日本の夜景地。
■ 【イルミネーション百選】	ぴあ編集チームが全国からおすすめのイルミネーションスポットを厳選して紹介している。

*** 1 観光需要喚起策 (p.6)**

山口県においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ観光需要の喚起を図るために割引宿泊券の発行等、宿泊施設を軸とした即効性のある取り組みなどを実施した。

*** 2 山口県観光客動態調査 (p.6)**

山口県が取りまとめる県内観光客数の調査のことで、主要観光地と宿泊施設及び各種イベントの観光客数に係数を乗じて算出。

*** 3 日本夜景遺産 (p.8)**

日本各地における後世に残すべき夜景を再発見・発掘し、「観光資源としての夜景」の価値を確立するため日本夜景遺産事務局が認定するもの。

*** 4 TOKUYAMA DECK (p.8)**

徳山駅前地区第一種市街地再開発事業により令和6(2024)年4月にオープンした複合商業施設。

*** 5 コンベンション (p.8)**

各種大会、企業・学会等の会議や研修会など。

*** 6 インバウンド (p.9)**

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

*** 7 着地型体験メニュー (p.9)**

地域の独自性を売りにした、メジャーな観光地では味わえない観光体験メニュー。近年、訪日外国人向けのインバウンドビジネスの活性化で注目されている。

*** 8 デスティネーション
キャンペーン (p.9)**

J Rグループ6社が自治体と連携し、特定の地域の観光地などを集中的にPRする大型観光キャンペーン。

*** 9 ワークेशन (p.9)**

リゾート地や地方部など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。

*** 10 マイクロツーリズム (p.9)**

新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに感染防止の観点で広がった、自宅から1～2時間程度の移動圏内の「地元」で観光する近距離旅行の形態のこと。

*** 11 サステナブルツーリズム (p.9)**

観光地の本来の姿を持続的に保つことができるように、観光地の環境や文化、人々の暮らしに配慮した観光のこと。

*** 12 SNS (p.9)**

Social Networking Serviceの略称で、登録者同士が交流できるインターネットの会員制サービスのこと。代表的なものにX、Facebook、Instagram、LINE、TikTokなどが挙げられる。

*** 13 ユニバーサルデザイン化 (p.10)**

年齢、性別、文化、国籍、障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人に分かりやすく利用できる建物、もの、しくみ、サービスなどを提供していこうとする考え方のこと。

***14 多文化共生 (p.10)**

異なる国籍や民族の人々が、互いの文化的な違いを尊重し、対等な関係を築きながら、地域社会の一員として共に生きていくこと。

***15 シビックプライド (p.11)**

地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、そして地域社会に貢献する意識を指す言葉。

***16 コミュニティツーリズム (p.14)**

地域コミュニティが主体となり、地域の歴史や文化、産業、暮らしなどを守りながら観光コンテンツとしてもアピールし、地域の活性化を目指すツーリズム形態。

***17 電動マイクロモビリティ (p.14)**

個人が短距離の移動に利用する小型な移動手段全般のことで、これには電動キックボード、電動スクーター、電動バイク、電動ペダル付き原付、電動アシスト自転車などが含まれる。

***18 第2種特別地域 (p.15)**

自然公園の中でも良好な自然状態を保持している地域で、農林漁業との調和を図りながら自然景観の保護に努めることが必要な地域。

***19 中国自然歩道 (p.15)**

中国5県を一周する総延長約2,295kmの長距離自然歩道。

***20 アフターコンベンション (p.17)**

各種大会、企業・学会等の会議や研修会後の催しや懇談会などの行事。

***21 ピクトグラム (p.17)**

「絵文字」や「アイコン」とも呼ばれ、単純化された図柄で特定の意味を表現する記号。

***22 インフルエンサー (p.19)**

流行・トレンドの発信源としてSNSなどを通じて情報発信し、それによって多くのフォロワーに影響を与えている人物を指す言葉。

***23 プラットフォーム (p.19)**

特定の機能やサービスを提供する基盤のこと。一般的に、ユーザー同士が交流したり、情報や商品をやり取りしたりする場を提供するもので、SNSやオンラインショッピングサイトなどが該当。

***24 AI検索エンジン (p.19)**

人工知能(AI)を活用して、ユーザーの質問に最適な情報を迅速に集める新しい検索サービスで、これを利用することでインターネット上の膨大な情報の中から、ユーザーに最適な情報を簡単に見つけることが可能となる。

***25 やさしい日本語 (p.22)**

普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと。

***26 国際交流サロン (p.23)**

周南市国際交流サロン運営委員会が年4回程度開催している、外国人と日本人が「気軽に」「自由に」「楽しく」交流することができるイベント。

3. 第4期周南市観光ビジョン策定の経過

ARCHIVE

- 令和6年9月30日 ● 第1回 策定委員会 開催
- 10月21日 ● 第2回 策定委員会 開催
- 11月18日 ● 第3回 策定委員会 開催
- 12月16日 ● 第4回 策定委員会 開催
- 令和7年1月29日～2月28日 ● パブリックコメント実施
- 令和7年3月 ● 第4期周南市観光ビジョン策定

4. 第4期周南市観光ビジョン策定委員及びアドバイザー

MEMBER

第4期周南市観光ビジョン策定委員

(敬称略、◎会長、○副会長)

学識経験者	◎ 朝水 宗彦	山口大学経済学部観光政策学科 教授
	○ 難波 利光	周南公立大学福祉情報学部長 人間健康科学部副学部長 福祉学科 教授
観光関係団体	山田 みゆき	一般財団法人周南観光コンベンション協会 専務理事
	小野 拓二	一般社団法人周南ツーリズム協議会 道の駅ソレーネ周南 駅長
	岡崎 麻衣	鹿野地域活性化研究会
旅館業	竹永 富夫	湯野温泉事業協同組合 代表理事
経済団体	宮崎 真紀子	新南陽商工会議所
まちづくり団体	組谷 明豊	周南市立徳山駅前図書館 周南市徳山駅前賑わい交流施設 館長
市民	有田 由貴	公募委員
	勝屋 幸代	公募委員

第4期周南市観光ビジョンアドバイザー

(敬称略)

アドバイザー	井上 康	一般社団法人山口県観光連盟 専務理事兼マーケティング統括
--------	------	---------------------------------

第4期周南市観光ビジョン

令和7(2025)年3月

編集・発行:周南市 文化スポーツ観光部 観光振興課

〒745-8655 山口県周南市岐山通1丁目1番地

電話:0834-22-8372